

氏名	毛利昌雄
学位の種類	医学博士
学位授与番号	甲第173号
学位授与の日付	昭和41年3月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系整形外科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	Identification of Human Blood by Fibrin Plate Method a Supplemental Study(フィブリン平板法による人血の証明 補遺)
論文審査委員	教授 児玉俊夫 教授 三上芳雄 教授 大内弘

学位論文内容の要旨

法医学上もっとも重要な問題の一つとして血痕が人血かまたは動物血であるかを鑑別することがある。

著者の教室ではFibrin-Plate法を使用して人血中に特異的に多量に存在する酵素性蛋白質と思考されるProactivatorを追求することによって人血の証明を企画しているが著者は本法による人血の特異性について研究した。その結果、0.1mg%のStreptokinaseを使用すればFibrin Plate法は人血のみに反応する絶対種族特異性を有する。この方法の使用により布、石、砂、木、木葉、等に附着した人血の極く微量、鉄さびおよび亜鉛さび等に混ざる人血、20~30年を経た古い人血痕、洗濯された人血附着布片、油に汚染された人血痕等を直接使用してその証明が可能である。

論文審査の結果の要旨

毛利昌雄提出の「Identification of Human Blood by Fibrin Plate Method a Supplemental Study」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は、つぎのごとくである。

この論文は、人血液の線溶系を利用して人血液中に特異的に多量に含有している Proactivator と称せられる酵素性蛋白質を Fibrin Plate Method により追求することによって人血の証明をおこなったもので、主として種族特異性の点を研究し 0.1 mg% の Streptokinase を使用すれば人血液以外の動物血液には絶対に作用せず、絶対種族特異性を有すること等を研究したもので現今おこなわれている法医学上の人血証明法としてはもっとも新しくまたきわめてすぐれた方法と認めるものである。

以上の通り本論文はきわめて新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せらるべき学力は充分有するものと認める。